

第5回「地震・防災リレーセミナー」開催報告

REICでは、防災意識の向上と幅広い防災・減災対策の推進に資する目的で「地震・防災リレーセミナー」を、地震予知総合研究振興会（ADEP）と共催で定期的を開催しています。

その第5回が、11月15日（金）17：30～19：00、ADEPの会議室にて開催されました。講師は日本大学文理学部教授、鶴川元雄氏、講演題目は「火山噴火・予知・大地震との連動性」です。

鶴川先生は独立行政法人防災科学技術研究所で長年地震や火山噴火に関する調査研究に従事されてきました。富士山の観測や火山観測網の整備、火山噴火予知連絡会委員など火山防災にも携わってこられ、現在日本大学文理学部教授として教鞭をとられています。

講演は火山の基本的な解説から始まり、火山には様々な様式があること、その噴火現象も様々で、溶岩流が流出するようなものから水蒸気爆発、さらには大きな被害を出す火砕流等の説明がありました。大地震と火山噴火の連動性については、過去の事例を参考に、ある程度の相関があること、またその影響を与えるメカニズムについて現在のモデル等の解説をして頂きました。富士山の噴火については、全く兆候を示さない寝耳に水のような噴火はしないが、常に噴火した時の対策を考えておくべき、ということでした。今回も、セミナーの様子はインターネットでも配信、遠隔地の会員の方が視聴しました。

第6回は、12月20日（金）17：30～19：00、会場は同じくADEPの会議室で開催致します。講師は株式会社シグネット取締役でREIC常務理事の山口耕作氏。講演題目は「緊急地震速報6年間の実績」です。

山口先生は緊急地震速報に造詣が深く、本運用が開始された2007年10月1日からこれまでの6年間の実績と、その技術的な課題等について独自の解析も交えてご講演頂きます。